

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 原田工業株式会社
 コード番号 6904 URL <https://www.harada.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 三宅 康晴

(氏名) 上條 洋一

TEL 03-3765-4321

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,619	3.2	140		34		45	
2022年3月期第1四半期	9,933	22.8	39		4		47	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 272百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 865百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	2.07	
2022年3月期第1四半期	2.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	37,064	11,369	30.7	522.72
2022年3月期	35,942	11,205	31.2	515.17

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 11,369百万円 2022年3月期 11,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	4.3	350		400		300		13.79
通期	40,000	11.7	200		100		70		3.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	21,758,000 株	2022年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	7,218 株	2022年3月期	7,218 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	21,750,782 株	2022年3月期1Q	21,750,782 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス変異株の感染急拡大やロシアによるウクライナ侵攻等が下振れ要因となり、回復が鈍化傾向となりました。また、海上物流の逼迫や、半導体不足をはじめとした供給制約が継続していることに加え、資源・エネルギー価格の高騰及び需要回復による記録的な物価上昇、中国の経済的犠牲を伴う厳しい防疫措置の実施等、経済の悪化要因も数多く存在しており、先行きの不確実性が極めて高い事態となっております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、世界的な半導体不足による生産調整の影響等により、コロナ禍以前の自動車生産台数と比較すると大幅な減産、並びに昨年同期と比較しても、アジアでは回復傾向であったものの、欧州での大幅な減産や北中米での減産を補えず、世界の自動車生産台数は減産となりました。また、材料費高騰や運賃上昇による輸送費高騰等、引き続き、大変厳しい事業環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは足元における収益確保及びコスト競争力の強化を目的とし、2020年4月に策定した「第二次コスト構造改革計画」を強力に推進し、材料費の削減、徹底した経費の削減、製造コスト削減等、事業活動に係る全てのコストに関し、抜本的な構造の改革を断行し、車載アンテナビジネスの収益力の向上に取り組んでまいりました。

一方、中長期的な視点では、コネクテッドが実現する豊かなカーライフに貢献することを目指し、「新たな成長への挑戦」を基本戦略とした4か年（2019年4月～2023年3月）の中期経営計画「NEW GROWTH」に掲げる各施策の実行に注力してまいりました。「NEW GROWTH」では「車載アンテナビジネスの強化」、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」、「更なる成長の土台となる組織基盤の強化」の3つの戦略を掲げておりますが、コスト構造改革の更なる進化による一層の収益力の向上や自動運転、また5G分野への対応力強化等、特に「車載アンテナビジネスの強化」に係る諸施策を推進してまいりました。また、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」に係る活動として、今後更なる拡大が見込まれるIoT市場に対し、コネクテッドを促進するIoT通信端末を開発し、商用化へ向けた取り組みを推進しております。本端末はカーシェアリングの分野をはじめとした車両の運行管理等、多様な利用シーンへの貢献を実現できるものであります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、世界の自動車生産台数がコロナ禍以前と比較すると大幅な減産となり、昨年同期と比較しても減産であった結果、96億19百万円（前年同期比3.2%減）となりました。利益面につきましては、想定を下回った売上高による収益への影響を最小限に抑えるべく、固定費の抑制や徹底した経費の削減等に取り組んだものの、材料費や輸送費高騰の影響が極めて大きく、またサプライチェーンの混乱を主要因とした不可抗力の航空機による輸送費等が発生したことから、営業損失は1億40百万円（前年同期は営業利益39百万円）、経常損失は34百万円（前年同期は経常利益4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は45百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失47百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①日本

自動車生産台数の減少等により、外部売上高は29億51百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント間の内部売上高は4億83百万円（同8.1%増）、営業損失は83百万円（前年同期は営業利益50百万円）となりました。

②アジア

アジア市場における自動車生産台数の回復や為替の影響等により、外部売上高は23億30百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント間の内部売上高は48億41百万円（同10.2%増）となりましたが、材料費や輸送費高騰の影響等から営業利益は41百万円（同76.2%減）となりました。

③北中米

北中米市場における自動車生産台数は減少したものの為替の影響等により、外部売上高は29億6百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント間の内部売上高は1億22百万円（同249.2%増）となりました。また、売上原価の削減等に取り組んだ結果、営業利益は97百万円（同240.8%増）となりました。

④欧州

欧州市場における自動車生産台数の減少等により、外部売上高は14億31百万円（前年同期比13.7%減）、セグメント間の内部売上高は2億36百万円（同37.5%減）、営業損失は1億81百万円（前年同期は営業損失1億7百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

（2）財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、棚卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は271億10百万円（前連結会計年度末263億78百万円）となり、7億32百万円増加いたしました。これは主に「現金及び預金」が5億34百万円、「商品及び製品」が2億37百万円増加したことによるものであります。固定資産は99億53百万円（前連結会計年度末95億64百万円）となり、3億89百万円増加いたしました。これは主に「有形固定資産」が2億円、投資その他の資産の「その他」が1億66百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は370億64百万円（前連結会計年度末359億42百万円）となり、11億21百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は245億48百万円（前連結会計年度末231億42百万円）となり、14億6百万円増加いたしました。これは主に「支払手形及び買掛金」が7億99百万円減少し、「短期借入金」が15億65百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が5億円増加したことによるものであります。固定負債は11億45百万円（前連結会計年度末15億94百万円）となり、4億49百万円減少いたしました。これは主に「長期借入金」が5億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は256億94百万円（前連結会計年度末247億37百万円）となり、9億57百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は113億69百万円（前連結会計年度末112億5百万円）となり、1億64百万円増加いたしました。これは主に「利益剰余金」が1億53百万円減少し、「為替換算調整勘定」が3億16百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,747,983	4,282,981
受取手形、売掛金及び契約資産	6,701,453	6,874,023
商品及び製品	7,662,972	7,900,705
仕掛品	852,215	767,273
原材料及び貯蔵品	6,461,356	6,428,705
その他	999,855	907,732
貸倒引当金	△47,577	△51,075
流動資産合計	26,378,260	27,110,346
固定資産		
有形固定資産	6,329,780	6,530,046
無形固定資産	165,825	188,779
投資その他の資産		
その他	3,078,172	3,244,279
貸倒引当金	△9,166	△9,425
投資その他の資産合計	3,069,007	3,234,853
固定資産合計	9,564,613	9,953,678
資産合計	35,942,873	37,064,025
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,825,599	2,026,483
電子記録債務	740,110	922,926
短期借入金	16,088,562	17,654,179
1年内返済予定の長期借入金	—	500,000
未払法人税等	461,494	533,813
賞与引当金	241,484	298,591
その他	2,785,522	2,612,945
流動負債合計	23,142,772	24,548,939
固定負債		
長期借入金	500,000	—
退職給付に係る負債	184,261	207,404
その他	910,410	938,196
固定負債合計	1,594,672	1,145,600
負債合計	24,737,444	25,694,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	7,594,691	7,440,846
自己株式	△2,446	△2,446
株主資本合計	11,471,407	11,317,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,501	27,193
為替換算調整勘定	△260,655	56,300
退職給付に係る調整累計額	△35,825	△31,572
その他の包括利益累計額合計	△265,979	51,922
純資産合計	11,205,428	11,369,485
負債純資産合計	35,942,873	37,064,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	9,933,495	9,619,688
売上原価	8,140,980	7,942,968
売上総利益	1,792,514	1,676,720
販売費及び一般管理費	1,753,148	1,817,708
営業利益又は営業損失(△)	39,365	△140,988
営業外収益		
受取保険料	17,911	—
保険解約返戻金	15,376	—
為替差益	—	88,892
その他	40,633	61,445
営業外収益合計	73,922	150,338
営業外費用		
支払利息	42,077	43,357
為替差損	64,660	—
その他	1,746	544
営業外費用合計	108,485	43,901
経常利益又は経常損失(△)	4,802	△34,551
特別利益		
固定資産売却益	2,091	1,117
特別利益合計	2,091	1,117
特別損失		
固定資産除却損	665	5,486
その他	497	69
特別損失合計	1,163	5,556
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,730	△38,990
法人税、住民税及び事業税	136,486	115,791
法人税等調整額	△83,647	△109,690
法人税等合計	52,838	6,100
四半期純損失(△)	△47,107	△45,091
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,107	△45,091

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△47,107	△45,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,196	△3,307
為替換算調整勘定	916,183	316,956
退職給付に係る調整額	26	4,253
その他の包括利益合計	913,013	317,901
四半期包括利益	865,905	272,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	865,905	272,810
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,312,107	2,204,896	2,756,460	1,660,031	9,933,495	—	9,933,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	447,451	4,394,992	35,130	377,684	5,255,259	△5,255,259	—
計	3,759,558	6,599,889	2,791,591	2,037,715	15,188,755	△5,255,259	9,933,495
セグメント利益又は損失(△)	50,837	174,342	28,581	△107,862	145,898	△106,532	39,365

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,532千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	2,951,130	2,330,555	2,906,190	1,431,811	9,619,688	—	9,619,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	483,757	4,841,908	122,671	236,101	5,684,437	△5,684,437	—
計	3,434,887	7,172,463	3,028,862	1,667,913	15,304,126	△5,684,437	9,619,688
セグメント利益又は損失(△)	△83,460	41,410	97,395	△181,265	△125,918	△15,069	△140,988

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△15,069千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。